

見附市図書館だより

万華鏡 第33号

平成26年1月17日発行

編集発行 見附市図書館 (TEL 62-3759)

指定管理者 NPO法人見附地域情報研究会



佐々木譲さん講演会を開催しました

昨年12月14日(土)、アルカディア小ホールにて、直木賞作家・佐々木譲さんをお招きし「読む喜び・書く楽しみ」と題する講演会を開催しました。

5歳の時、耳で聞きひらがなを覚えた「みつばちマーヤの冒険」、乱読の高校生時代、20代で読み始めたアメリカのハードボイルド小説、文学を志すきっかけとなった映画専門誌「キネマ旬報」への投稿など自身の読書体験と、アウトプットを前提に系統的学び、まずは読んだ本の感想を書きインターネット上に発表してほしい。そうすると誰かが必ず見てくれる。読む喜び・書くことの楽しみをここから味わってほしいと話された佐々木さん。会場の165人の聴衆は質疑やサイン会も交え、楽しいひと時を過ごしました。

佐々木譲講演会

〜当日ご参加の方から感想をいただきました〜

読む喜び、書く楽しみを暮らしの中へ

松井 弘子

過ぎ去った時間を取り戻すことはできません。しかし、その時々
の思い出は心に残っています。旅先での出来事、人との出会いや別れな
どの心象風景と共に、当時の自分の在りようを鮮やかに思い浮かべる
ことができます。

同じように、「読んだ本」の記憶から、たくさんの思い出が溢れて
くることがあります。心を揺さぶられた本、感動した本、泣いた本、
笑った本、喜びに満ちた本、心躍らせた本など、読書体験を通して当
時の思いにしみじみと浸ることがあります。

講演会では、佐々木譲さんの読書体験をお聞きしながら、自分の読
書体験と重ね合わせて考えるよい機会を得ました。サリンジャーの
『ライ麦畑でつかまえて』の話題では、同年代での同じ経験に心が震
え、忘れかけていた衝撃と心揺さぶられた思いを、懐かしい気持ちで
思い起こしました。

佐々木さんの警察小説ばかりを読んでいた私ですが、彼の冒険小説
や歴史小説、ノンフィクション作品にも興味をもちました。今年、
「乱読からテーマをもった読書」への転換を図ろうと期しているところ
です。まずは、佐々木さんの第二次大戦三部作『ベルリン飛行指令』
『エトロフ発緊急電』『ストックホルムの密使』の読破を目指します。
「読むことの喜び、書くことの楽しみをもっと暮らしの中へ」との
佐々木さんの言葉を胸に刻みつつ、読書生活を満喫していきたいと思
っています。

講演会を聴いて

渋谷 武志

講演会の当日は雪が舞う寒い日でしたが、アルカディア小ホールは
聴衆で満席でした。佐々木さんのやわらかい話し方は最初から人を引
き付け、副題の「読む喜び・書く楽しみ」を自身の体験にもとづいて
プロジェクターを使いながらわかりやすく語りかけて下さいました。
また世界各地の図書館の様子や利用方法、インターネットで自分の
作品を発表することなど、読むことから書くこと、そして発表へとつ
ながる丁寧なお話でした。

佐々木さんの作品は、サスペンス・バイク小説・第二次大戦関連・
歴史、時代小説・警察小説等々の幅広い分野に及んでいます。

私は現在まで警察小説しか読んでいませんが、組織から距離をおい
ていて拳銃や警察手帳を持たない警官が不利な条件を逆手にとって
事件を解決したり、札幌の中央の刑事から地方の駐在に転勤させられ
るなかで、中央から地方へとばされた人間の生きざまや考え方がわか
ったり、警察という強い規律の組織の中では、常識が通じず回りが見
えなくなってしまうなど、それぞれの描写があるがままの人間の真相
をあぶりだしてくれます。

今までは警察小説を楽しんでいましたが、この次は第二次大戦関連
や歴史、時代小説へも舵を切ろうと思いました。そして、もっと図書
館を利用し、インターネットで自分の作品も発表できるように感心
し、活用してみたいと思った講演会でした。

新潟小学校図工クラブ手作り紙芝居 「小栗山の獅子舞」 原画展開催中！

全国から239点の応募があった「第14回手作り紙芝居コンクール」で一般の部の大賞「加太こうじ賞」を受賞した作品です。大賞を決める本審査会で上演し、大賞に加え、観客の皆さんが選ぶ「最も感動した紙芝居」に贈られる「観客賞」も受賞しました。図工クラブの皆さんによる紙芝居の発表会も行います。ぜひ、ご覧ください。

*原画展

期間 1月4日(土)～

2月2日(日)

場所 図書館閲覧室

*紙芝居の発表会

日時 2月2日(日)

午前10時30分～

場所 2階視聴覚室

申込 不要



「小栗山の獅子舞」

紙芝居を制作して

田中 智恵利

この度、新潟小学校図工クラブの子供達と共に手作り紙芝居コンクールに応募し、横浜にて子供たちと実演し、大賞と観客賞を頂きました。実演に至るまで多くの方々のご協力をいただき、本当に感謝しております。

手作り紙芝居コンクールの存在は、活動4年目となる見附紙芝居の会の指導者、今井和江先生（新潟ひょうしぎの会）より以前からお聞きしていました。

私はPTAボランティアとして、新潟小学校図工クラブの子供達を指導していますが、このクラブの子どもたちの発想の豊かさ、作品作りへの集中力を見て、ぜひ夏休みに時間をもらい紙芝居を作ろうと思いました。

獅子舞に関する資料を学校よりお借りし、拙いながらも私が脚本と絵コンテを書き、子供達は自分達が毎年継承している獅子舞をモチーフに、下絵を何枚も描きました。それからアクリル絵具を用い、何度も色を重ね、迫力ある原面を作りました。

暑い夏休みに、暑い図工室で行った作業でしたが、皆が熱心に楽しそうに作業してくれました。

作画や演技、演奏に努力した事が認められ、大賞と観客賞をいただけたことは、子供達に大きな自信を与えたと思います。またその姿を間近に見られた事は、私にとって良い思い出になりました。

☆☆☆ インフォメーション ☆☆☆

☆蔵書点検のお知らせ

2月10日(月)～16日(日)まで休館します

館内の資料約18万冊をすべて確認します。ご不便をおかけしますが、
よろしくお願いいたします。また、1週間の休館となりますので
1月25日(土)～2月9日(日)までの間、貸出冊数を20冊までとします。
是非、ご利用ください!

ご自宅に、返却忘れの本はありませんか。この期間中もブックポストで
24時間返却ができます。ご利用ください。

*CDは破損の恐れがありますので開館後にお返しく下さい。

☆書庫開放

日時 1月26日(日) 2月23日(日) 3月23日(日)
いずれも午前9時30分～午後4時

図書館2階にある書庫の文学書(一般)26,500冊を一般開放します。
その場で貸出も行いますので、ご利用ください。



☆映画鑑賞会

日時 1月26日(日) 上映作品 「男はつらいよ 奮闘篇」

1年ぶりに生みの母親と再会した寅次郎は、沼津のラーメン屋で出会った少女から「あんたのお嫁になりたい」と言われて真剣に悩むが…。ミヤコ蝶々が寅の母親役で再び登場。

2月23日(日) 上映作品 「君よ憤怒の河を渡れ」

突如無実の罪を着せられた検事が汚名を晴らすため日本中を逃走。その後、謀略の全貌を明かし、悪の首謀者を追いつめる。

3月23日(日) 上映作品 「学校」

東京下町の一角にある夜間中学の教師・黒井。卒業式も近づいたある日、卒業記念文集のための作文の授業を行う。原稿用紙にそれぞれの思いを綴る様々な職業、年齢の生徒たちの横顔を見ながら、黒井は彼らとの思い出を振り返る……。

いずれも時間は、①午前9時30分②午後1時30分からの2回上映で、会場は2階
視聴覚室です。入場無料。

事前申込も不要です。ぜひ、お越しください。

主催 見附シネマ倶楽部 見附市図書館

*図書館休館日

1月20・27日 2月3・10～16日(蔵書点検のため)・24日 3月3・10・14・17・24・31日

*学習コーナーの臨時休館(書庫開放のため、学習コーナーは利用できません)

1月26日 2月23日 3月23日